



## 67. ヨ ッ ト 章

所属： \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊 スカウト氏名： \_\_\_\_\_

	考 査 細 目	考 査 方 法	合 格 年 月 日	認 印
(1)	水泳章を有すること。	水泳章の提示		
(2)	帆走の原理について説明すること。	口述		
(3)	ヨットを帆装別、および船体別に分類してその特長を述べること。また、自分が用いるヨットの各部の名称をあげて、その機能を説明すること。	口述		
(4)	海難防止のための基本的な事項、および帆走前、帆走中において注意すべき事項について説明すること。	口述		
(5)	仲間の協力を得て、次のことにより艇を帆走できることを示すこと。 ア 艇を艀装する。 イ ヨット・ハーバーまたは砂浜より発艇する。 ウ ランニング、ビーティング及びリーチングにより、指定されたコースを帆走する。 エ タッキング及びジャイビングにより方向転換する。 オ 艇を止めてアンカーを打つ。 カ ヨット・ハーバーまたは砂浜にもどったときに、すべての用具を点検し格納する。 キ 転覆によって艇から転落した人を救助する。 ク 座礁及び荒天の際にとるべき措置を説明する。	実演		
(6)	次のことができること。 ア 次のロープ結びができ、その用途を説明する。 スクエアまたはリーフノット(本結び)、クラブヒッチ(巻き結び)、シーハーフヒッチ(ふた結び)、もやい結び、8の字結び、ムアリングヒッチ(馬つなぎ)、ひとえつぎ、ショートスプライス イ ロープを巻きあげて、正しく収納する。 ウ ロープの端に索端止めをする。それが用いられる理由を説明する。 エ ヨットに用いられるロープの種類と、それに用いられる繊維の種類、長所短所について述べる。	実演		
(7)	ヨットその用具を手入れし、年間を通じて保管する方法を説明すること。	報告書(活動記録)の提出		

<※水辺・水中・水上の活動については、安全器具(ライフジャケット等)が正しく取り扱えること。>

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 \_\_\_\_\_ 印